

資料No.2

江田島市交流定住促進協議会
令和6年3月27日

令和6年度江田島市当初予算について

1 背景

令和4年度の空き家バンク成約件数及び移住世帯・移住人数は最高値（平成28年度以降）となったが、令和5年度は、地方回帰志向の波から再び東京一極集中化の傾向も見られはじめ、高水準ながらも少し落ち着いた印象を受けた。一方で、テレワークやフルリモートなど働き方が多様化し、住む場所や働く場所に縛られることがなく、転職せずに地方移住を検討しやすい環境も増えている。

昨年度は、ポータルサイト「hodohodo」の改修を行い、「新規コンテンツの追加」と「編集操作性の向上」を図ったが、今年度は空き家バンク登録に関する相談が大幅に増加した影響で、空き家バンク情報の更新が中心となった。令和6年度はさらに、サイトの訴求力を積極的に活用し、移住希望者により有益な情報や本市の魅力を届けられるよう取り組む。

また、引き続き、移住交流拠点施設「フウド」を主体に空き家バンク内覧案内、移住相談、移住者・リモートワーカーと地域住民との交流など、幅広く移住・定住を促進する取り組みを行う。

2 内容（予算額の（ ）内は前年度当初予算額）

事業名	項目	内容	予算額
交流定住促進事業	市交流定住促進協議会補助金	フウド事業を始めとする市交流定住促進協議会事業に関する費用を補助する。	7,272千円 (6,834千円)
	ポータルサイト・空き家バンクVR運営費	市内の空き家物件情報をポータルサイトに掲載し、移住希望者へ移住関連情報を総合的に提供する。サイト及びVR運用に係るサーバー管理料。	291千円 (225千円)
	移住・定住支援補助金	定住目的の転入者が、居住用の自宅を新築した場合に費用の一部を補助する。（上限額300千円） 市内の民間賃貸住宅に市外から移住の子育て世帯に対し、補助金を交付する。（上限額120千円） 移住検討時の片道交通費や宿泊費を補助する。（上限交通費20千円、宿泊費5千円）	3,740千円 (3,740千円)
	移住定住フェア出展及び会議等出席のための旅費	首都圏開催の県定住フェア等に参加し、本市のPR及び移住希望者への相談対応等を行うための旅費。移住・定住、空き家活用関連会議出席のための旅費。	324千円 (365千円)